

「あなたができること」(10分)

対象/小学生・中学生・高校生

1. プログラムの趣旨

震災発生前、私たちは日常生活がそのまま続く、これが普通の生活だと考えていた。児童、生徒の多くは災害について何の危機感ももっていなかった。しかし、震災は想像以上の出来事であり、多くの被災者がいのちが助かったことに対して、喜びだけでなく苦悩を抱えた。

今、被災者の写真を見ることで、震災の状況を知る。その上で、震災を経験した被災者の立場を想像し、理解することで相手の苦痛を知り、相手の立場や思いやる心、人の役に立とうとする態度を養い、いのちの尊さ、かけがえのない自他を尊重する心を育む。

2. ねらい

震災後の写真を見て、震災の状況を知ることによって、いのちを守り、いのちをつなぐとはどういうことかを考える。

そして、助かったいのちに対しての感謝の気持ちがある一方で、自分が助かったことに対して素直に喜べない葛藤を感じ取る。被災者の立場を理解し、思いやる心、どうすれば役に立てるかを考えさせ、内面的な成長を図る。

3. 展開

段階	学習内容	教師の支援・指導上の留意点
導入 (3分)	・ 写真を読み解く	・ 写真をじっくり見せる。
展開 (5分)	・ 写真から震災の事実を知る。 ①おじいさんは何をしているのだろうか。 ・ 老人の思いを感じ取り、被災者としてどういう気持ちでいるかを想像する。 ②どんな気持ちだと思うか。 ・ 被災者と周囲の人々の動きを想像する。 ③あなたは、おじいさんにどう接するか。 ④なんと声がけするか。	・ 相手の気持ちに入り込めるように問いかける。 ・ 周囲の様子を感じ取らせる。 ・ 自分の問題として受け止め、考えさせる。 ・ 自分にできることは何かを考えさせる。
まとめ (2分)	本時のふりかえり。 ・ 自分のできることを考える。	・ 生きているからこそできることは何かを考える。



©日本赤十字社